

日本核医学会内用療法戦略会議 新規核種導入作業部会アンケート調査内容
「医療法：診療用放射性同位元素備付届」の状況について

1. ご担当者のお名前（記述式）：必須
回答内容に不明点がある場合、事務局よりご連絡させていただくことがあります。
2. ご担当者の職務（複数回答）：必須
法令申請作成者、実務管理者、部門管理者、その他
3. ご施設の申請書作成者（単一回答）：必須
外部専門業者に委託、病院担当者（医師）、病院担当者（技師）、その他
4. ご施設の法人区分等（単一回答）：必須
国立病院機構、国立研究開発法人、地域医療機能推進機構、国立大学法人、公立大学法人、私立大学法人、私立病院、自治体(都道府県、市町村等)、その他
5. ご施設名（記述式）：必須
6. 都道府県（プルダウン回答）：必須
7. 法令に基づく指定施設区分 以下の区分に該当があれば選択してください。（複数回答）
特定機能病院、都道府県がん診療連携拠点病院（国立がん研究センターを含む）、地域がん診療連携拠点病院（高度型）、地域がん診療連携拠点病院（特例型を含む）、地域がん診療病院
8. 法令適用範囲（単一回答）：必須
医療法のみ適用、医療法およびサイクロ含む RI 法も適用
9. ご施設の核医学診療実施内容（複数回答）：必須
SPECT、PET、内用療法（Ra-223）、内用療法（I-131）、内用療法（I-131：アブレーション）、内用療法（Y-90）、内用療法（Lu-177）、その他
10. 「ルタテラ®静注」の導入（単一回答）
すでに導入済（臨床での使用はまだだが、都道府県への届出等、必要な手続きは完了している場合を含む）、今後導入予定、当面予定していない
- 10-2. (【10. 「ルタテラ®静注」の導入】について、すでに導入済、今後導入予定と回答いただいた方への質問)「特別措置病室」の利用（単一回答）
利用している、今後導入時に利用予定、(課題があるため)利用していない/または予定なし（放射線治療病室を利用）
- 10-3. (【10. 「ルタテラ®静注」の導入（10-2. 「特別措置病室」の利用）】について、「(課題があるため)利用していない」と回答いただいた方への質問)「特別措置病室」の利用にあたっての課題（複数回答可）
利用できる病室（個室）がない、蓄尿が困難、特別措置病室に係る医療スタッフの不足、放射線防護・汚染防止措置に手間がかかりすぎる、利用にあたっての具体的な対応方法が分からない、収益性が見込めない、その他（自由記載）

10-4. (【10.「ルタテラ®静注」の導入】について、すでに導入済、今後導入予定と回答いただいた方への質問)「放射線治療病室」と「特別措置病室」の関係(今後の予定も含む)(単一回答)

特別措置病室のみ利用している、放射線治療病室のみ利用している、放射線治療病室と特別措置病室を併用している。

10-5. 今後「ルタテラ®静注」以外にも「特別措置病室」が制度上利用できるようになったら利用するか(単一回答)

はい、いいえ、わからない、検討中

11. 使用核種及び使用量(1日、3月間、年間最大使用予定数量)(各記述式)

※I-131 を用途別に届け出ていない場合については内用療法か SPECT のどちらかに含めていただければ結構です。

11-1 内用療法: Sr-89 (MBq)、Y-90 (MBq)、I-131 (MBq)、Lu-177 (MBq)、At-211 (MBq)、Ra-223 (MBq)、Ac-225 (MBq)

11-2 SPECT: Cr-51 (MBq)、Fe-59 (MBq)、Ga-67 (MBq)、Rb-81/Kr-81m (MBq)、Mo-99/Tc-99m (MBq)、Tc-99m (MBq)、In-111 (MBq)、I-123 (MBq)、I-131 (MBq)、Xe-133 (MBq)、Tl-201 (MBq)

11-3 PET: C-11 (MBq)、N-13 (MBq)、O-15 (MBq)、F-18 (MBq)、Cu-64 (MBq)、Ge-68/Ga-68 (MBq)、Ga-68 (MBq)、

11-4 その他: I-125 (MBq)

12. 使用室における空气中濃度計算 室①

(1)名称(準備室、処置室、カメラ室、心筋負荷室等)(記述式)

(2)排気量(m³/h)(記述式)

(3)1日稼働時間(h/日)(記述式)

(4)計算結果(濃度限度との比の和)(記述式)

(5)空气中濃度計算を行っている他の室がありますか?: 必須

ある、ない(排気設備について 系統①まで飛ぶ)

あると回答した場合、室②から室⑦まで回答可能。

13. 最終排気口における排気濃度計算 系統①

(1)系統の名称(記述式)

(2)1日の総排気量(m³/h)(記述式)

(3)1日稼働時間(h/日)(記述式)

(4)3月稼働時間(日/3ヶ月)(記述式)

(5)計算結果(濃度限度との比の和)(記述式)

(6)一番影響のある核種(プルダウン)

C-11、N-13、O-15、F-18、Cr-51、Fe-59、Cu-64、Ga-67、Ge-68/Ga-68、Ga-68、Rb-81/Kr-81m、Sr-89、Y-90、Mo-99/Tc-99m、Tc-99m、In-111、I-123、I-125、I-131、Xe-133、Lu-177、Tl-201、At-211、Ra-223、Ac-225

(7)一番影響のある核種の割合(記述式)

(8)その他の系統がありますか?: 必須

はい、いいえ(排水設備について 系統①まで飛ぶ)

あると回答した場合、系統②、③まで回答可能。

14. 排水設備について 系統①

- (1)系統の名称（記述式）
- (2)1日の排水量（L/日）（記述式）
- (3)貯留槽の設置数（基）（記述式）
- (4)貯留槽の容量（ton）（記述式）
- (5)希釈槽の設置数（基）（記述式）
- (6)希釈槽の容量（ton）（記述式）
- (7)計算結果（濃度限度との比の和）（記述式）
- (8)一番影響のある核種（プルダウン）

C-11、N-13、O-15、F-18、Cr-51、Fe-59、Cu-64、Ga-67、Ge-68/Ga-68、Ga-68、Rb-81/Kr-81m、Sr-89、Y-90、Mo-99/Tc-99m、Tc-99m、In-111、I-123、I-125、I-131、Xe-133、Lu-177、Tl-201、At-211、Ra-223、Ac-225

- (9)一番影響のある核種の割合（記述式）
- (10)届出における貯留槽1基が満水になるまでの日数（日）（記述式）
- (11)実際に貯留槽1基が満水になる（もしくは別の貯留槽へ切り替える・希釈槽へ移送する）までの日数（日）（記述式）
- (12)届出における希釈してから排水する場合の希釈倍率（記述式）
- (13)実際の排水時に希釈している場合の希釈倍率（希釈せずに排水していなければ1）（記述式）
希釈倍率が一定ではない場合、次のどちらかの数値を記載ください。
年間で検査件数が多い〇ヶ月間の放流平均 or 年間を通した放流の平均
（回答例：年間で検査件数の多い3ヶ月間の放流平均 5）

- (14)その他の系統がありますか？：必須
はい、いいえ（アンケート終わり）

あると回答した場合、系統②、③まで回答可能。